

### 第3回

# 明治大学和泉小史展

2002・6・3（月）～10・7（月）

於 和泉校舎第1校舎の1階ロビー

1999年に和泉校舎でははじめて明治大学の歴史展を催して以来、多くの方々より御好評をいただいてまいりました。そのため今年度も展示品を差し替えつつ、和泉校舎を中心とした写真展を開催させていただくことになりました。

なお、お問い合わせは歴史編纂事務室までお願いいたします。



予科祭の日の正門付近（昭和15年）

## 展示品

### 1 創立者の肖像

(左) 宮城浩蔵 1852(嘉永5)・4・15～1893(明治26)・2・14

山形県出身、検事、初代教頭、衆議院議員

(中央) 岸本辰雄 1851(嘉永4)・11・8～1912(明治45)・4・4

鳥取県出身、判事、初代校長

(右) 矢代 操 1852(嘉永5)・6・20～1891(明治24)・4・2

福井県出身、元老院雇、講師

### 2 和泉総合グランド（予科グランド、和田堀グランド）

和泉の陸軍火薬庫跡にキャンパスを設けると決まった時、当時の新聞は「松と杉と竹の学園」と報じました。そして、しばらくは運動場として使われました。これはその1930(昭和5)年当時の写真です。

### 3 『京王電車沿線名所図絵』にみる予科

これはまだ予科校舎開設前、つまり1930(昭和5)年に京王電車が作成したパンフレットの一頁です。

### 4 和泉校舎の予定地

駿河台にあった予科校舎は手狭となり、杉並の和泉へ移転することになりました。これは現キャンパスの移転前、つまり1932(昭和7)年のようにです。

### 5 オープンしたばかりの和泉校舎

これは新築間もない1934(昭和9)年当時の和泉校舎です。正門を入って左側で、今は空地となっている所です。手前の庭園は現在図書館のある所です。なお、予科では教養教育をしましたが、それは大体、現在の学部1・2年生に相当します。

## 6 和泉校舎の落成式

和泉校舎が竣工したのは1934（昭和9）年3月のことです。予科教育のためのものでした。これは同年11月の落成式における入口付近のようです。

## 7 明大前駅のホーム

予科の開設により1935（昭和10）年2月、明大前駅は京王線の松原駅と帝都線の西松原駅の移転によって誕生しました。これはそのころの写真です。

## 8 予科祭のデコレーション「誰がために鐘が鳴る」

1941（昭和16）年5月の予科祭における予科第Ⅱ種K組の出し物で、世界の指導者を墓に追いやるというものです。



予科祭のデコレーション「誰がために鐘が鳴る」（昭和16年）

## 9 和泉校舎と玉川上水

1951（昭和26）年4月、それまでの3階校舎に1階分、増築されました。

これは1958（昭和33）年当時の写真です。今は暗きよとなっている玉川上水が見えます。

## 10 図書館

この旧図書館は現在の第2校舎の所にありました。この写真は1956（昭和31）年当時のものですが、その4年後に撤去され、やがて現在地に建築されました。

## 11 1956（昭和31）年当時の和泉校舎

現在の中庭の方から見た本館（第1校舎）です。右側に木造の食堂が見えます。

## 12 庭園工事

幾何学的な庭園の工事がはじまったのは、1961（昭和36）年のことです。奥には1955（同30）年に竣工した体育館が見えます。



近年の和泉校舎正門（1998年）

（注）No.8の写真は昭和17年卒業予科第Ⅱ種K組の方々の御好意により、『17K会のあゆみ』から転載しました。

2002・6・3

明治大学歴史編纂事務室

TEL 03(3296)4085

FAX 03(3296)4086